

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：松谷 春敏

事業名	和泉中央線	事業区分	街路	事業主体	大阪府
起終点	自：大阪府和泉市肥子町 至：大阪府和泉市府中町			延長	0.6 km
事業概要 都市計画道路和泉中央線は、和泉市中心部と丘陵部を結ぶ幹線道路で、JR阪和線との立体交差を含む延長0.6 kmの4車線道路である。					
H 9年度事業化	S 4 1年度都市計画決定 (S 5 9年度変更)	H 9年度用地着手	H 1 7年度工事着手		
全体事業費	1 0 4 億円	事業進捗率	5 2 %	供用済延長	0 . 0 km
計画交通量	1 5 , 6 0 0 台 / 日				
費用対効果 分析結果	B / C (事業全体) 3 . 5 (残事業) -	総費用 (残事業) / (事業全体) - / 1 1 2 億円 事業費： - / 111億円 維持管理費： - / 1.0億円	総便益 (残事業) / (事業全体) - / 3 9 1 億円 走行時間短縮便益： - / 371億円 走行費用減少便益： - / 19億円 交通事故減少便益： - / 1.0億円	基準年 平成18年	
事業の効果等 ・都市の再生（都市再生プロジェクトを支援する事業）（第3次決定『密集市街地の緊急整備』） ・都市の再生（市街地再開発の沿道まちづくりとの関係）（和泉府中駅東第一地区第二種市街地再開発）					
関係する地方公共団体等の意見 和泉中央線は、交通の隘路となっているJR阪和線のボトルネック踏切の解消が期待されており毎年度、地元市（和泉市）より事業区間の早期完成の要望（平成18年11月15日）を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 関西空港の開港に伴い、列車が増便され踏切遮断時間が長くなり、交通渋滞が深刻化している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 一部において用地補償協議が難航したが、平成17年度より工事に着手。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 未買収地が一部残っているが、平成17年度より工事に着手し、平成22年度に全線供用予定である。					
施設の構造や工法の変更等 特になし					
対応方針 事業継続					
対応方針決定の理由 事業の必要性が認められ、事業進捗上、特段の支障がないことから「事業継続は妥当」と考えます					
事業概要図					